



宮城学院広報
MIYAGI GAKUIN

vol.
159

2018.10

Glory to God

巻頭言

自由の訓練の場としての
宮城学院

学院長 鳴田 順好

特集

宮城学院高等学校の
学びが変わります

MG TOPICS

卒業生紹介

小林 愛実さん

石崎 玲子さん

タイトル「Glory to God」は宮城学院の校歌「天にみ栄え」の英訳であり、本学院のキリスト教精神を象徴する言葉。旧東三番丁キャンパスの講堂内にも、この言葉が掲げられていた。

自由の訓練の場としての宮城学院

学院長 嶋田 順好

中学生から高校生、高校生から大学生、大学生から社会人へと成長していくプロセスは、次第に多くの自由を享受できるようになる歩みと言えるでしょう。もちろん自由には責任が伴いますから、本当に大切な課題は、ただ自由になることではなくて、自由になった時に、その自由をどのように用いるのかということにあります。それこそは全ての人間が、よく生きようとするときの最大の課題です。私たちの悩みは、自由になっても、この自由をよく使いこなすことができないという問題を抱えていることにあるのではないのでしょうか。

西暦2000年に17歳の少女の凶悪犯罪が続発したことがありました。その頃、ある新聞が「きみたちと同じ17歳の少女が次々と凶悪犯罪を起こしていることについてどう思うか」というアンケート調査を行いました。その回答の中に「それも自由じゃないの。殺人をしてしまうのも、しないのも。個人の自由さ」という答えがあり、多くの心ある人々を震撼させたことでした。

確かに人間には自由が与えられています。しかし殺人を犯す自由というものがあるのでしょうか。自らの自由を用いて、他者の自由を最後究極的に奪う自由があるのでしょうか。それは自由ではありません。自由の悪用です。ですから私たちは自由にされたということ目標に到達したということにはな

りません。与えられた自由をどうよく用いるかが課題となるのです。実にそこにこそ、人間の成熟さを示す尺度があると言えます。ですから成熟した民主主義社会で人間に必要な教育とは、なによりも自由の訓練ということにほかなりません。

ガラテヤの信徒への手紙5章13節で使徒パウロは「兄弟たち、あなたがたは、自由を得るために召し出されたのです。ただ、この自由を、肉に罪を犯させる機会とせず、愛によって互いに仕えなさい」と告げています。ここで言われている「肉に罪を犯させる」とは、自らの欲望のままに好き勝手な振る舞いに走ることをさしているのでしょうか。しかし、パウロは、誤解の余地なくそうであってはならないと告げるのです。そうではなくて、この自由をただ愛によって互いに仕えるためによく用いなさいと。

私は確信します。そのための訓練の場が、この宮城学院にはあるということ。その訓練のための愛が礼拝のなかに、その訓練のための学びが日々の講義のなかにあるということ。それ故、この学舎に集う園児、生徒、学生、院生たちが、よき自由の訓練を受けて、地域のため、日本のため、世界のために「愛によって互いに仕える」人となってほしいと切に願わずにはられません。

宮城学院高等学校の学びが変わります

- BE BEAUTIFULLY REBORN -

2019年度より一人一人の進路実現を強力にサポートする『3コース3専攻制』に移行します。

2019年度から、選抜コース（MG選抜）、特別進学コース（MG特進）（コース内にグローバルコミュニケーション専攻[GC]）、総合進学コース（MG総進）（2年次よりクリエイティブ専攻[CR]、ライフサイエンス専攻[LS]）の3コース3専攻に移行します。



選抜コース (MG選抜)

英数国先取り学習で
難関国立大学へ

東北大学などの難関国立大学進学を目指すコースです。5教科7科目型カリキュラムを採用し、先取り授業と放課後補習・土曜講習で高3夏休み前までに3年間の学習を終了。夏休み以降は国立二次試験対策を中心に、実践力を高めます。

特別進学コース (MG特進)

部活後の勉強班で
国立・難関私立大学へ

グローバルコミュニケーション専攻[GC]
(1年次より)

学習と課外活動のバランスの取れた学校生活を送りながら、宮城教育大学、山形大学などの国立大学や難関私立大学を目指します。グローバルコミュニケーション専攻は、国際基督教大学など英語に特色のある国内大学や海外大学への進学を目指します。

総合進学コース (MG総進)

豊富な推薦枠・高大連携で
資格取得に有利な大学へ

クリエイティブ専攻 [CR] (2年次より) | ライフサイエンス専攻 [LS] (2年次より)

宮城学院女子大学を始めとし、青山学院大学など豊富な推薦枠が魅力。高大連携を通じ、さまざまな資格が取得できる大学・短大・専門学校への進学を目指します。2年次から文系のクリエイティブ専攻、理系のライフサイエンス専攻に分かれます。

さまざまな高大連携プログラムで 将来の進路を発見!

本校では、総合進学コース(MG総進)を中心に、宮城学院女子大学のキャンパスを舞台に、高校では得られない学びや体験ができる「高大連携」を積極的に進めます。高大連携授業などを受けることで、将来の進路に目が開けると共に、学習・進学意欲を高めます。宮城学院女子大学へは多数の推薦を用意しており、3月の推薦の場合、国立大学、他大学を受験しながらの推薦も可能です。(大学入学共通テストの受験が条件となります)



自立学習をサポートする勉強の専門店街 Study Mall

スタディモールは、自習や担当講師による個別指導のほか、さまざまな講座を受講できる「勉強の専門店街」です。特別進学コース(MG特進)の生徒は必須で「勉強班」に参加するほか、他コースの生徒も目的に応じて様々なスタイルで活用。まるで個別学習塾や予備校に通うように、学校の中でより一層学力を向上させていくことができます。



※詳細はホームページをご覧ください。



＊「創立記念礼拝」が行われました

9月18日(火)の創立記念日には、創立記念礼拝等の行事が執り行われました。まず、礼拝堂において創立記念礼拝が行われ、嶋田順好学院長から「涙と共に種を蒔く人」と題して説教をいただきました。引き続き、30年、20年勤続者に対する永年勤続表彰が行われ、11名の対象者に対し、永年にわたる貢献を称えて宮城光信理事長より表彰状と記念品が贈呈されました。続く記念講演では、講師に増島俊之先生をお招きし、「人の心を動かすもの―新井白石『西洋紀聞』に記されるヨハン・シンドチ宣教師―」と題したご講演をいただきました。

午後、永年勤続表彰者を囲んでの昼食会の後、E.R. プールボー記念碑への献花を行い、引き続きバスで北山キリスト教墓地へ移動し、墓前礼拝が執り行われました。天候にも恵まれ、多くの参拝者が墓前を囲み、創立者の押川方義、W.E. ホーイらの献身に思いを馳せながら墓前に献花をいたしました。



嶋田順好学院長



増島俊之先生



墓前礼拝

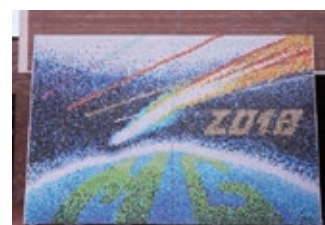


E.R. プールボー記念碑への献花

＊「中高文化祭」が開催されました

9月1日(土)、校内発表を行いました。今年のテーマは「流星群」。ひとりひとりが輝いて個性を發揮し、文化祭をみんなで明るく照らしたいという思いが込められています。校内発表では、音楽班、ハンドベル班、オーケストラ班、演劇班、ダンス班などがこの文化祭に向けて練習してきた成果を披露してくれました。文化班の皆さん、ご苦労さまでした。

9月2日(日)は一般公開。天候にも恵まれ、1,029名もの方々にご来場くださいました。日常の学習や部活動の成果、クラスの繋がりを、はじけるパワーで皆さまにお届けすることができました。文化祭実行委員会を中心にMG生が一丸となって作り上げた文化祭、各々が翼を広げ新しいステージへ翔ける日となりました。多数ご来場いただきありがとうございました。



＊「大学祭」が開催されました

10月13日(土)、14日(日)、【宮學浪漫～輝け!アオハル～】をテーマとした宮城学院女子大学大学祭が開催されました。正門を入ると大学祭のイメージキャラクター「みゃーがくちゃん」が来場者をお出迎え、講義館前のテントでは学生団体が手作りしたスイーツや軽食の模擬店が大学祭を盛り上げました。中央芝生広場に設けられた特設ステージでは、よさこい、チャリーディング、手話などの各サークルによる活動の成果を活かした発表が行われました。教室内では、サークルや有志団体による生演奏、喫茶店、展示、物品販売などがあり、たくさんの来場者でにぎわいました。

大学祭実行委員会の中夜祭企画であるおけ屋敷には連日長蛇の列ができ、来場者を楽しませ!ました。最終日の打ち上げ花火が秋の夜空を彩る中、大盛況のうちに今年の大学祭が終了しました。



＊「サークルK 宮城学院女子大学」が設立されました

世界中に約20万人の会員を有する国際奉仕団体キワニスの国内4番目となる大学生組織として「サークルK 宮城学院女子大学」が設立され、2月24日(土)に認証授与式が挙行されました。

9月には熊本で開催された年次総会で活動報告を行い、全国各地やアメリカから集まった学生たちと共に、熊本地震で大きな被害を受けた益城町最大のテクノ仮設団地で住民の方々との交流会を企画・実施しました。



＊「小学生のためのサマーカレッジ」を開催しました

東日本大震災によって被災した子どもたちにキャンパスで思いやり遊び、学んでほしいとの思いから始まった「小学生のためのサマーカレッジ」は8回目を数え、今年は7月15日(日)、16日(月・祝)に開催されました。

参加した約70名の子どもたちは、約60名の学生スタッフと共に遊歩道散策や大学教員による講座を受講したり、学生の考案したレシピによる昼食やおやつをいただいたり、表現講座では特別講師として、大学附属「森のこども園」を設計された伊東豊雄先生をお迎えし、「森の中に布のトンネルをつくろう」のテーマの下、素敵なトンネルを完成させるなど特別な2日間を満喫していました。

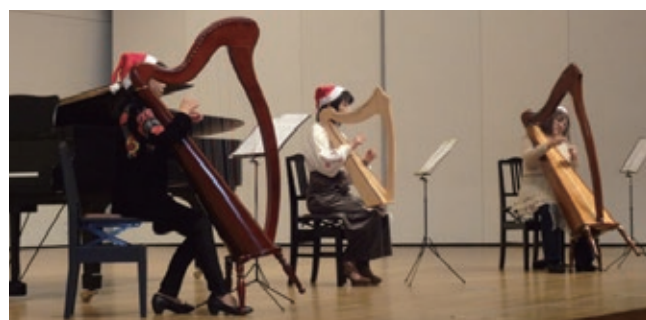


＊ 広がる音楽の輪 —音楽リエゾンセンターの活動

2016年4月に設立された音楽リエゾンセンター（MLC）は、「認定演奏員制度」と「楽友ネットワーク」を通じて、「音楽の宮城」の蓄積を地域へ発信しています。

センターがオーディションで選んだ演奏員たちには、地域の文化・教育・福祉活動での演奏を中心に継続的に出演依頼があり、磨かれた演奏力と誠実な姿勢に、高い評価を頂いています。2018年度はさらに、学術学会のセレモニーでの演奏など、活動の場が広がっています。

ジャンルを問わない音楽愛好家「楽友」の輪も順調に育ち、交流会や宮城学院のクリスマスマーケットでは、コーラス、ジャズバンド、サクソ、ギター、ピアノ、ハーブ、邦楽、和太鼓、詩吟、薩摩琵琶など、会員による多彩な音楽が響きます。互いに刺激しあう中から異なるジャンル同士の新たなコラボ企画も自然に生まれ、音楽を通じた新たなつながりは、地域に豊かな活力を運んでいます。



宮城学院クリスマスマーケットでの「楽友」によるハーブアンサンブル演奏



本学で開催された日本保育学会大会の開会セレモニーで演奏する認定演奏員

＊「森のこども園にたくさんのお客様が…」

5月12日（土）・13日（日）の両日に大学で保育学会が開かれ3,500人の参加者がありました。その中で500人の方が森のこども園を見学し、13日（日）は朝から夕方まで人が途切れずに大賑わいでした。保育界で著名な無藤隆先生、汐見稔幸先生も訪れて下さり、森の中にあるこの環境に感嘆の声を上げて下さいました。

改定された保育指針、幼稚園・こども園の教育保育要領に、「全ての子どもに質の高い幼児教育・保育を提供する」ことで、特に「環境を通して行う教育」を基本としていると謳われています。本園の保育はまさに、森の自然の中で日々発見し、感動し、仲間たちと一緒に協力し合う毎日は幼児期にふさわしい生活と教育の場であると言えます。

8月の「森の音楽会」は演奏家の都合で夕方に行われました。夏休み中ということで、お家から家族と一緒に参加した子どもや、保育利用児はお昼寝後におやつを食べてから参加となりました。仕事を終えて職場から駆けつけてくれる保護者もいました。演奏後ピアニストの方が「子どもたちの歌う讃美歌に感動しました。」と仰っていました。



森の音楽会（春）



森の音楽会（夏）

＊「学内合同企業説明会」を実施しました

6月16日（土）及び7月14日（土）に、4年生・大学院2年生を対象に、学内に合同企業説明会を開催しました。6月は参加企業数12社、参加学生数73名、7月は参加企業数9社、40名の学生が参加しました。開会にあたっては、はじめに参加企業のプレゼンテーションタイムを設け、各企業のアピールをしていただきました。冒頭で全ての参加企業からのお話を伺うことで、事前に企業についてより深く知ってからブースを訪問することができました。

売り手市場と言われている大学生の就職活動ですが、就職情報サイトや自治体主催の合同企業説明会が数多く開催されており、学生は例年と変わらず大変多忙です。しかし、その中でも本学主催の学内合同企業説明会は、「本学の学生をぜひ採用したい」とわざわざキャンパスに足を運んでいただく企業の皆様で、学生にも大変有意義な説明会です。企業の皆様にはご不便をおかけしますが、学生たちがどのような環境で学んでいるかを知っていただき、本学教員もご挨拶をさせていただける大変貴重な機会となっています。

キャリア支援センターでは、就職を希望する4年生・大学院2年生を、引き続き支援していきます。



各企業のプレゼンテーションタイム



企業ブースでの説明

＊ 同窓会設立125周年を迎えて

今年、同窓会は設立125周年を迎えました。設立の端緒を開いて下さった宮城女学校第1回卒業生の皆様、組織・体制を整えつつ同窓会を力強く導いて下さった歴代の会長様、そして、いつの時代も変わらぬご支援を続けて下さった多くの先輩方に感謝しつつ、同窓会の精神と歴史と伝統を再認識し、心に刻みながら活動が続けているところです。

くしくも昨年より、天童睦子教授を中心とする「女子ミッション教育史研究会」の研究として、同窓生の足跡を追跡調査して頂く機会に恵まれました。戦前・戦後にわたって宮城学院で学んだ卒業生が、その教育をどのように実らせてその後の人生を辿ったのか。地域社会との関わりにおいて、職業人として家庭人として、MG生に共通性や特色が見られるのか。研究結果がとても楽しみです。研究報告会が以下のように開催されますので、同窓生の皆様、会終了後の茶話会にも多くの同窓生の皆様のご参加をお待ち申し上げます。どうぞご参加下さい。



1893年 第1回卒業生4名

宮城学院女子大学主催 公開シンポジウム・東北における女子ミッション教育の社会史

日時 2018年11月24日（土）10:30～12:30

場所 本学講義館 C202教室

※終了後、同窓会の皆様の茶話会を予定しております。会場は同窓会会議室1、是非ご参加ください。

宮

城県内教力所と青森市でフラダンスの教室を主宰しています。生徒さんは、小学生から90代まで、全教室合わせて350人位。基本1時間45分ほどのクラスを毎日平均して2クラス教えています。

フラとの出会いは20年ほど前。子どもの頃からクラシックバレエや器械体操を経験していたので、身体を動かすことはとても好きでした。

20代の時にスポーツクラブが開業すると聞き、エアロビクスの経験もないのにインストラクターの試験に挑戦。する



本場ハワイのフラを実際に踊りながら指導

と見事合格。先輩について一生懸命学びました。退職して数年後、知人が「エアロビクスを習いたい」と教室の場を設けてくれたのをきっかけに、口コミで増えていきました。教室は順調でしたが「教わる側の気持ちを忘れたくない」と考えるようになり、60代の生徒さんに誘われてフラダンスを習いに行くこと、楽しくて、もっと学びたくなりました。そこで、尊敬するハワイの先生と出会い、私のフラ人生が始まりました。フラの学び方や考え方は日本と全く違うので、自分をチェンジする必要がありました。自然体でフレンドリーに人と付き合うこと、身体と心をリラックスさせた、やわらかい気持ちと柔らかい身体。人と比べない謙虚な気持ちと感謝の心。強く優しく、愛情深い先生から、フラの根底にあるハワイの文化を一から教わり、人生に対する姿勢まで変わりました。そして、その先生に

直接師事して、生徒に伝えたいと思えました。今も東京に勉強に行ったり、年1回はハワイの先生宅にホームステイして、朝から夜遅くまで練習しています。また、3年に一度は生徒さんたちと本場のハワイに行つてフラを披露しています。踊っている時が一番幸せです。

ハワイの文化を内面に採り入れて、正しくフラを踊ると、体調が良くなり、表情が豊かになります。私自身も、より積極的になりました。思えば「謙虚で前向きに生きる」フラの教えは、宮城学院中学・高校で学んだキリスト教精神や先生方の教えとつながっています。あの頃身につけた「感謝の気持ち」という土台がなかったら、どんなに素晴らしい出会いがあっても気がつかなかったかもしれませんが、学生時代は気づきにくいですが、卒業後悩んだり困ったりした時に宮城学院での学び、先生との触れ合い、友達との出会いが役に立ちますし、それは

一生の財産になると思っています。私は決して優秀な学生ではありませんでした。今充実した幸せな毎日を過ごしていることに感謝しています。

先のことや目標は考えないようになっています。やるべきことをやり続けられれば、結果はあとからついてきます。「もっと勉強しておけば」と後悔するより今日からベストを尽くす、毎日全力でやりきっていこうと思います。

宮城学院の学びがフラとつながり 今を幸せに生きる基盤に

楽しい旅の思い出づくりに関わり お客様に喜ばれることが私の喜び

大

学在学中に自分で計画を立てて各地へ旅をする楽しさに目覚めました。様々な経験から、人と関わったり人を喜ばせたりする仕事をしたいと考えるようになり、旅行会社への就職を目指すようになりました。大学のキャリア支援センターに足しげく通い、親身に相談にのってもらいながら、第一希望のJTB東北(現・JTB)の内定をもらうことができました。

内定後は会社から教材が送られてきて、国内外の地理や観光地など旅行に関する基礎知識を頭にたたき込みました。旅行業は交通機関、宿泊施設、観光地など幅広い知識や情報が必要で、覚えることが膨大でした。就職が決まっても、こんなに勉強することがあるのかと思う反面、旅行の知識は仕事でもプライベートでも活かせるのでワクワクしていました。

入社後は法人営業郡山支店(現福島支店)に配属され、念願



オーストラリアへの添乗中 コアラと撮影

だった教育旅行の営業を約3年間担当しました。中学、高校、大学、専門学校を訪問して修学旅行などを受注し、企画から手配、添乗までを担当します。修学旅行は、2年位前から先生と打ち合わせを重ね、じっくり準備を進めるので、責任感や愛着が生まれ、形になった時の達成感があります。特に学生が旅行を喜ぶ姿を見るのは本当にうれしく、旅行が終わってお礼を言われたりメッセージをもらったたりすると、頑張った良かったと心から思いました。

新入社員の頃は何もできな

くても、明るく笑顔でいることを心がけていました。通えば通うほど話を聞いてくれて、温かく接していただけたようになります。少しずつお客様を増やすことができました。今は仙台支店で一般企業の営業を担当していますが、仕事の基本は同じで、お客様との信頼関係を築くこと。お客様に期待される当たり前のことができ、お客様が考えていることを読み取り、求められる以上の情報を提供しなければなりません。失敗して叱られたとしても、私のためと捉えて、何かひとつでも次につながることを見出そうと前向きに考えるようにしています。

旅行の仕事をする喜びは、旅を楽しむお客様の笑顔を見ること、担当したお客様に感謝されること。お客様の素敵な旅の思い出づくりに関わらせていただき、お客様がリピーターとしてくださることは、本当にこの仕事をして良かったと思

思う瞬間です。入社して6年目、今は新入社員を指導する立場になりました。JTBは産前産後休暇・育児休暇を取得し働き続ける人が大勢います。結婚して、子どもが生まれても仕事とプライベートを両立できる環境を作ってほしい、いい働き方だねと先輩に思われる先輩になりたいです。また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに何らかの形で関わられたら、その時を目指して、笑顔忘れず頑張っていきたいと思っています。

小林 愛実さん

2012年度 宮城学院女子大学学芸学部日本文学科卒業
株式会社JTB 仙台支店

宮城県仙台市生まれ。2013年3月、宮城学院女子大学学芸学部日本文学科を卒業。2013年4月、株式会社JTB東北に入社。法人営業郡山支店(現福島支店)に配属され福島県西部エリアを担当。2016年2月より仙台支店勤務。小・中学校・高校は吹奏楽部でクラリネットを演奏。趣味は旅行、野球観戦。

石崎 玲子さん

1985年度 宮城学院高等学校卒業
Na mea Hula' O Hoakaleimakamae
(ナーメア・フラ・オ・ホアカレイマカマエ) 代表

宮城県生まれ。1985年3月、宮城学院高等学校を卒業。1987年3月、宮城ドレスメーカー専門学校を卒業。地元百貨店、スポーツクラブのエアロビクスインストラクター、エアロビクス教室主宰を経て、フラダンス教室「Na mea Hula' O Hoakaleimakamae」代表。好きな言葉は一期一会、実るほど頭を垂れる稲穂かな。



教育環境整備資金募金者芳名

【2018年2月1日～2018年9月30日受付分】
◎募金総額 7,182,760円 (2018年9月30日現在)

一般・法人

- 金300,000円
株式会社高一建設様
- 金200,000円
東通インテグレート株式会社様
- 金100,000円
長谷川体育施設株式会社東北支店様
木幡 淳一様
- 金50,000円
小林 加奈子様
- 金30,000円
伊藤 理様
- 金29,300円
関口 美恵子様
- 金10,000円
仙台五橋教会様
- 金7,058円
北欧教育セミナー実行委員会様

大学

- 金50,000円
藤田 萌様
茂木 隆様
匿名1名様
- 金40,000円
太田 富広様
- 金30,000円
綾部 隆英様
遠藤 真子様
工藤 章吾様
佐藤 克己様
笹原 健一様
斉藤 政晴様
匿名1名様
- 金20,000円
阿部 剛様
遠藤 良弘様

- 岡根 洋介様
吉田 久美子様
金沢 善幸様
古川 健二様
高橋 是清様
佐藤 知克様
坂下 幸夫様
坂野 秀一様
三留 昭生様
若山 良子様
酒井 智美様
小山 理恵様
小池 達哉様
小島 靖様
小林 琢朗様
菅野 眞衣様
星 繁様
川村 芳則様
早野 円様
太田 恵一様
大和 憲男様
田中 智多雄様
島 豊行様
嶋江 愛美様
板橋 昭一様
飯坂 勝幸様
富田 忠正様
福田 義様
齊藤 登則様
高野 彩里様
匿名8名様
- 金10,000円
阿部 武宏様
伊深 美穂様
井上 広志様
稲山 佳那様
遠藤 正様
吉野 嘉子様
吉崎 主計様
佐藤 沙津希様
佐藤 真一様
小松原 清敬様
菅野 和恵様

- 川下 信弘様
村山 喜久雄様
村上 和敏様
尾形 啓之様
服部 富男様
匿名4名様
- 金5,000円
小野寺 健司様
- 金3,000円
草刈 亜里沙様
- 金1,000円
柳沼 久喜様

高等学校

- 金50,000円
菊田 浩之様
黒田 秀一様
守谷 武彦様
- 金30,000円
浅野 勝志様
匿名1名様
- 金20,000円
阿部 信子様
久光 次夫様
近江 克規様
原田 伸彦様
佐藤 弘康様
佐藤 文徳様
飯淵 みのり様
北村 容子様
堀江 智視様
和田山 正伸様
齋藤 潤子様
匿名3名様
- 金10,000円
阿部 正志様
内海 健様
矢吹 重和様
匿名2名様

- 金5,000円
後藤 良之様

中学校

- 金50,000円
菊田 浩之様
菅井 厚志様
菅野 真幸様
福田 誠悦様
- 金20,000円
岩田 英典様
栗田 亜弥様
高橋 直樹様
笹森 傑様
新田 洋一様
青田 浩様
匿名2名様
- 金10,000円
内海 健様
匿名1名様
- 金5,000円
後藤 良之様
松田 芳晃様

同窓会

- 金30,000円
石原 裕子様
- 金20,000円
大久保 和子様
- 金10,000円
星 八重子様
匿名1名様
- 金2,000円
安斉 和子様

役員・教職員・旧教職員

- 金1,750,000円
宮城 光信様

- 金500,000円
嶋田 順好様

- 金300,000円
平川 新様
本田 辰雄様

- 金150,402円
大山 和子様

- 金100,000円
太田 富美子様
升沢 京子様
大槻 真奈美様
木幡 智佳子様

- 金80,000円
宮原 育子様

- 金50,000円
稲井 廣子様
熊谷 優克様
紺野 聖子様
三井 精一様

- 金30,000円
熊坂 聡様
匿名1名様

- 金20,000円
伊狩 弘様
佐藤 圭様
松山 裕美子様
菅原 正功様
正司 純子様
石原 慎士様
塚本 恭子様
藤田 嘉代子様

- 金10,000円
山本 ささら様
菅澤 美保様

子ども園

- 金20,000円
(有)フラワード 堀江 信彰様

【今回の表紙】 礼拝堂とベルタワー

キャンパスのほぼ中央に位置する礼拝堂は宮城学院のシンボルであり最も重要な場所です。十字架を掲げ、天高くそびえる高さ26メートルのベルタワー。その上部に備えられたカリヨン（旋律を奏でられるよう複数の鐘を組み合わせたもの）からは、1日に4回、それぞれ異なる讃美歌が演奏され、美しい鐘の音がキャンパスに響き渡ります。12月、アドヴェントの期間から、ベルタワーを中心にイルミネーションが点灯され、クリスマスを迎える喜びを学院全体で分かち合います。

